# NY マーケットレポート（2020 年 6 月 10 日）

## 2020年 6月10日（水）

| アジア主要株価 | 終値 | 前日比 | 年初来% |
|---|---|---|---|
| 日経平均 | 23,124.95 | +33.92 | -2.25% |
| ハンセン指数 | 25,049.73 | -7.49 | -11.14% |
| 上海総合 | 2,943.75 | -12.36 | -3.49% |
| 韓国総合 | 2,195.69 | +6.77 | -0.09% |
| 豪ASX200 | 6,148.40 | +3.45 | -8.01% |
| シンガポールST | 2,800.57 | +6.40 | -13.10% |
| インドSENSEX | 34,247.05 | +290.36 | -16.98% |

| 外国為替 | 終値 | 高値 | 安値 |
|---|---|---|---|
| USD/JPY | 107.17 | 107.87 | 106.99 |
| EUR/JPY | 121.82 | 122.36 | 121.59 |
| GBP/JPY | 136.51 | 137.42 | 136.48 |
| AUD/JPY | 74.92 | 75.62 | 74.72 |
| EUR/USD | 1.1367 | 1.1422 | 1.1323 |
| BRL/JPY | 21.399 | 22.040 | 21.359 |
| RUB/JPY | 1.551 | 1.566 | 1.548 |

| | 終値 | 前日比 | 年初来% |
|---|---|---|---|
| 英FT100 | 6,329.13 | -6.59 | -16.09% |
| 仏CAC40 | 5,053.42 | -41.69 | -15.47% |
| 独DAX | 12,530.16 | -87.83 | -5.43% |
| スペインIBX35 | 7,663.90 | -88.40 | -19.74% |
| イタリアFTSE MIB | 19,758.01 | -172.19 | -15.95% |
| トルコ・イスタンブール100 | 109,778.94 | +542.41 | -4.06% |
| ロシアRTS | 1,277.58 | -6.73 | -17.52% |
| 南ア全株指数 | 53,672.63 | -810.85 | -5.98% |

| コモディティー | 終値 | 前日比 | 年初来% |
|---|---|---|---|
| NY GOLD | 1720.70 | -1.20 | 12.97% |
| NY 原油 | 39.60 | +0.66 | -35.15% |
| CBOTコーン | 326.25 | -1.25 | -15.86% |
| CRB指数 | 139.222 | +0.769 | -25.06% |
| ドル指数先物 | 95.959 | -0.365 | -0.45% |
| VIX指数 | 27.57 | 0.00 | 100.07% |

| 米国主要株価 | 終値 | 前日比 | 年初来% |
|---|---|---|---|
| 米ダウ平均 | 26,989.99 | -282.31 | -5.43% |
| S&P500 | 3,190.14 | -17.04 | -1.26% |
| NASDAQ | 10,020.35 | +66.59 | 11.68% |
| **南北米主要株価** | **終値** | **前日比** | **年初来%** |
| カナダ・トロント総合 | 15,701.33 | -132.41 | -7.98% |
| メキシコ・ボルサ指数 | 38,266.19 | -919.47 | -12.11% |
| ブラジル・ボベスパ指数 | 94,685.98 | -2060.57 | -18.12% |

＊一部暫定値

| Crypto Currency | 本 日 | 前 日 |
|---|---|---|
| CME Bitcoin(先物・期近) | 9965 | 9815 |
| Ripple（BSTP） | 0.203 | 0.201 |
| Ethereum（BSTP） | 247.80 | 243.57 |
| Bitcoin Cash | 256.97 | 253.28 |

| 日本国債利回り | 本 日 | 前 日 |
|---|---|---|
| 2年債 | -0.143% | -0.138% |
| 5年債 | -0.099% | -0.103% |
| 10年債 | 0.025% | 0.020% |
| 30年債 | 0.545% | 0.546% |
| **欧州国債利回り** | | |
| ドイツ10年債 | -0.331% | -0.309% |
| 英国 10年債 | 0.267% | 0.336% |
| フランス 10年債 | 0.080% | 0.080% |
| **米国債利回り** | | |
| 2年債 | 0.167% | 0.202% |
| 3年債 | 0.198% | 0.263% |
| 5年債 | 0.315% | 0.401% |
| 7年債 | 0.539% | 0.642% |
| 10年債 | 0.726% | 0.825% |
| 30年債 | 1.506% | 1.576% |

### 6/11 経済指標スケジュール

08:01 【英国】5月RICS住宅価格
08:50 【日本】2Q景況判断BSI
08:50 【日本】6月対内外証券投資
10:00 【オーストラリア】6月消費者インフレ期待
11:00 【日本】5月東京オフィス空室率
13:00 【スウェーデン】5月PES失業率
14:30 【フランス】1Q雇用者数[民間部門]
16:30 【スウェーデン】5月消費者物価指数
18:30 【南アフリカ】4月金、鉱物生産量
20:00 【南アフリカ】4月製造業生産
20:00 【メキシコ】4月製造業生産
20:00 【メキシコ】4月鉱工業生産
21:30 【米国】新規失業保険申請件数
21:30 【米国】失業保険継続受給者数
21:30 【米国】5月生産者物価指数
22:00 【ロシア】4月貿易収支
23:30 【米国】EIA天然ガス貯蔵量

### 6/11 主要会議・講演・その他予定

・米30年債入札

出所：SBILM

## NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

### 主要な米経済指標の結果

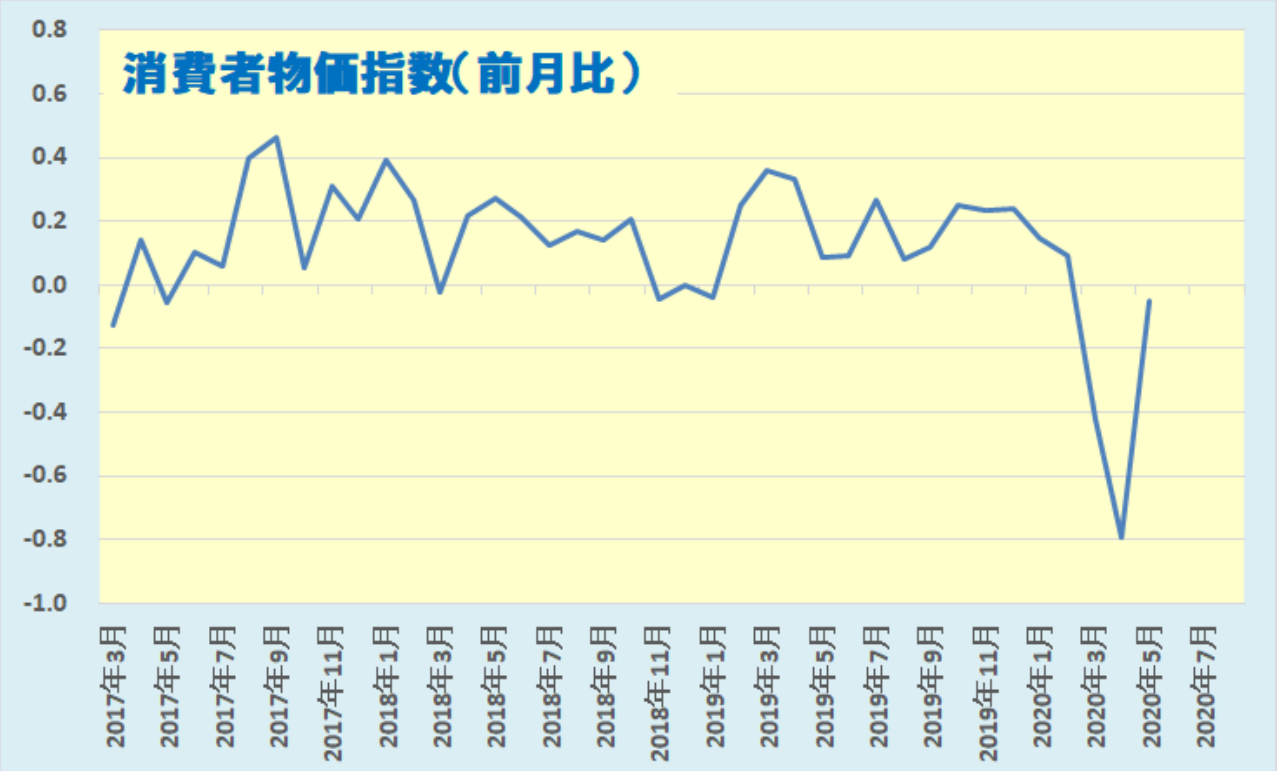
**5 月消費者物価指数（前月比）　-0.1%（予想　0.0%・前回　-0.8%）**

**5 月消費者物価指数（前年比）　0.1%（予想　0.3%・前回　0.3%）**

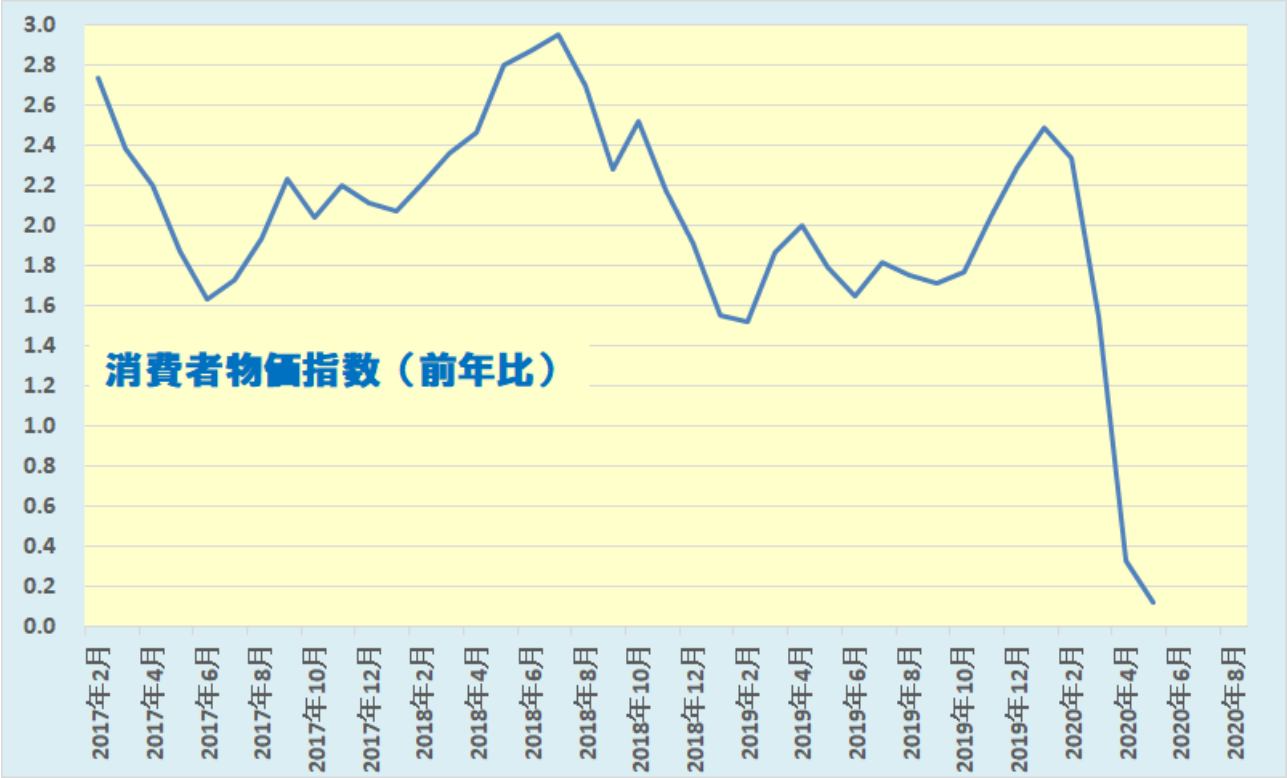
**5 月消費者物価指数[コア]（前月比）　-0.1%（予想　0.0%・前回　-0.4%）**

**5 月消費者物価指数[コア]（前年比）　1.2%（予想　1.3%・前回　1.4%）**

5 月の米消費者物価指数は、市場予想に反してマイナスとなり、3 ヵ月連続の低下となり、コア指数も 3 ヵ月連続のマイナスとなった。一方、前年比ベースでも市場予想を下回る結果となった。エネルギーがマイナス幅を縮小したものの、5 ヵ月連続のマイナスとなったことが影響した。エネルギーは-1.8%（前月-10.1%）、サービスが 0.0%（-0.3%）、食品・飲料が 0.7%（1.4%）、居住費が 0.2%（0.0%）だった。新型コロナウイルス感染拡大を受けた景気後退で、需要が引き続き落ち込んだことが示唆された。

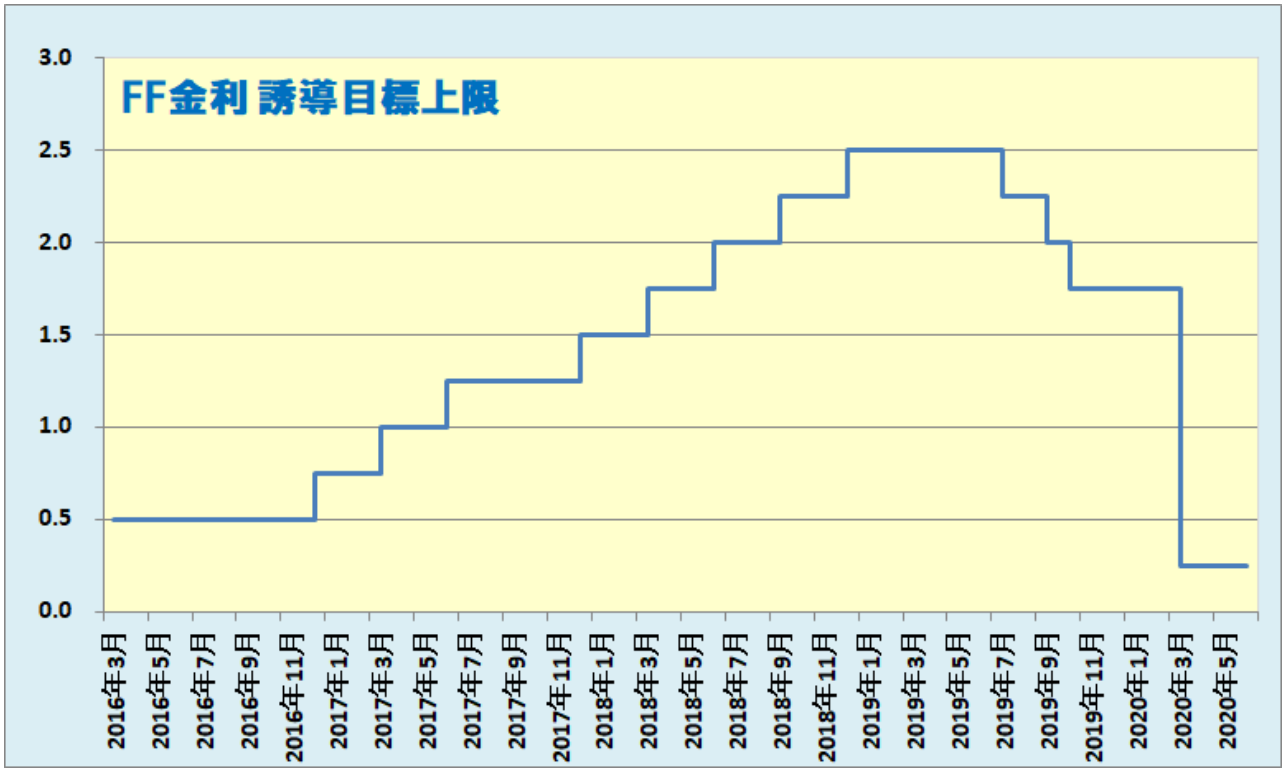



データを基に SBILM が作成




データを基に SBILM が作成

**FOMC 政策金利　0.00%-0.25%（予想　0.00%-0.25%・前回　0.00%-0.25%）**




データを基に SBILM が作成

## FOMC 声明

・FF 金利誘導目標を 0.00%-0.25%で据え置き

・決定は全会一致

・2022 年末までゼロ金利付近を維持

・米国債と MBS は少なくとも現行ペースで購入維持

・ウイルスの感染拡大は米国および世界中で経済的苦難をもたらしている。

・経済を支援するためにあらゆる手段を行使する

・雇用の最大化、物価安定に向けて全力で取り組む

## パウエル FRB 議長の会見での主な発言

・今期の GDP は過去最大の落ち込みとなるだろう

・FOMC 全体として下期回復を予想、ゼロ金利が支援

・物価上昇率押し上げる能力について謙虚であるべきだ

・5 月雇用統計は良好、だが道のりは長い

・数百万人がしばらく失業する状況も

・低賃金労働者を再び支援できるようにしたい

・イールドカーブ・コントロール導入についてはまだ答えが出ていない

・必要なら債券購入を調整する用意がある

## ナスダックは 4 営業日続伸、終値ベース 10000 ポイント乗せ

米株式市場は、まちまちの結果となった。序盤から軟調な動きが続いたダウ平均と S&P500 は、FOMC で 2022 年末までゼロ金利政策が維持される方針を受けて、プラス圏まで回復する場面もあった。しかし、FRB 議長が会見で雇用回復には時間を要する可能性を指摘したことを嫌気して、再びマイナス圏まで下落した。ダウ平均株価は 282 ドル安（-1.04%）で終了して続落となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、序盤から堅調な動きが続き 66 ポイント高（+0.67%）で終了。4 営業日続伸となり、3 日連続で最高値を更新し、終値ベースでは初めて 10000 ポイント乗せとなった。

データを基に SBILM が作成

| セクター別変動率(ダウ平均) | | |
|---|---|---|
| | セクター | 変動率 |
| 1 | 石油・ガス | -4.40% |
| 2 | 資本財 | -3.41% |
| 3 | 金融 | -2.15% |
| 4 | 素材 | -1.87% |
| 5 | 消費者サービス | -1.20% |

| 個別の変動率(ダウ平均銘柄) | | |
|---|---|---|
| | 銘柄 | 変動率 |
| 1 | ボーイング | -6.15% |
| 2 | エクソン | -5.36% |
| 3 | JPモルガン・チェース | -4.05% |
| 4 | アメリカンエキスプレス | -3.89% |
| 5 | シェブロン | -3.89% |

データを基に SBILM が作成

## ドル/円は一時 106.99 まで下落、5/15 以来の安値

NY 市場では、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが強まる中、序盤に発表された米消費者物価指数が予想に反してマイナスとなったことや、米国債利回りの低下もあり、ドルはやや上値の重い動きとなり、107.16 まで下落した。その後は狭いレンジ内の動きが続いたが、FOMC では、FF 金利の誘導目標の据え置きが発表され、さらに注目されていたイールドカーブ・コントロールについては声明で触れられていなかったことから、米 10 年債利回りが 0.765%から 0.800%まで上昇となり、これを受けてドル/円も一時 107.47 まで上昇した。しかし、ゼロ金利政策を 2022 年末まで継続する方針が示されたことが嫌気され、ドルは一転して下落に転じた。その後、パウエル FRB 議長が会見でイールドカーブ・コントロールに関して、「答えが出ていない」とし、「今後の理事会で議論を継続する」と発言したことで、導入の可能性もあるとの思惑が広がり、米 10 年債利回りが 0.723%まで低下するとともに、ドル/円も 106.99 まで下落し、5/15 以来の安値を付けた。

出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。